

3 障がい者虐待の現況

◆ 虐待事案の件数

厚生労働省の集計によると、2022（令和4）年度の障がい者虐待の〔通報・相談件数／虐待判断件数〕を見ると、養護者による虐待は8,650件／2,123件、施設従事者等による虐待は4,104件／956件でした。使用者による虐待は〔通報・届出のあった事業所数／虐待が認められた事業所数〕を集計していますが、1,230事業所／430事業所でした。

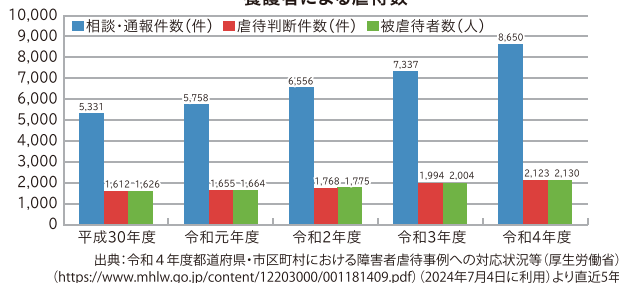
養護者による虐待及び施設従事者等による虐待についての通報・相談数は増加傾向が見られますが、これは障がい者虐待についての人々の認知が進んでいることが影響していることもその理由として考えられます。

◆ 虐待類型と被害者の障がい種別

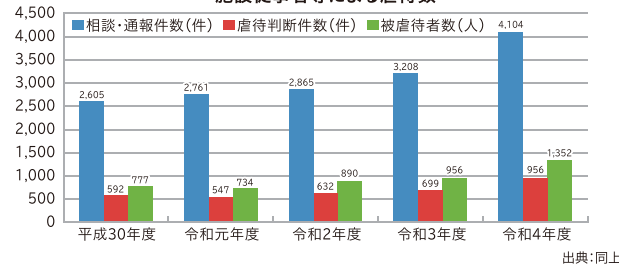
虐待の5類型別に見ると、養護者による虐待では身体的虐待が68.5%と最も多く、以下、心理的虐待、経済的虐待、放棄・放置、性的虐待の順となっています。施設従事者等による虐待では身体的虐待が52.0%、心理的46.4%で、性的虐待、放棄・放置、経済的虐待が続いています。

一方使用者による虐待では、経済的虐待が圧倒的多数を占めています。以下、心理的虐待、身体的虐待、放置等による虐待、性的虐待が続きます。

養護者による虐待数



施設従事者等による虐待数



使用者による虐待数

